



京都文化祭典'04

~ KYOTO ART FESTIVAL ~

みやこ

「京の華舞台」事業報告書



京の華舞台実行委員会

開催趣旨

悠久の時の中で数々の文化を育んできた京都。日本を代表する古都・京都は、歴史の中で培われてきた伝統芸能と先進的なスタイルの芸術が集う場でもあります。

「京都文化祭典 京の華舞台」は、こうした京都の有形無形の文化資源を生かして、市民の芸術文化活動のより一層の振興を図るとともに、京都が誇る伝統と先進の芸術文化を全国に発信し、観光客五千万人構想の実現を目指して開催しました。

開催期間

平成16年9月18日（土）から平成16年10月24日（日）まで

主 催 京の華舞台実行委員会

協 賛 阪神高速道路公団、サントリー株式会社、近畿日本ツーリスト、
全国中小建設業教会・全中建京都、JTB

協 力 叡山電鉄株式会社、近畿日本鉄道株式会社、京福電気鉄道株式会社、
JR東海、京都物産出品協会

後 援 京都商工会議所、（社）京都市観光協会、（財）平安建都1200年記念協会

■舞と響のハーモニー

オープニングイベントとして、能の華麗なる舞いとオーケストラの調べのコラボレーションを展開し、新たな文化を創出しました

日 時：平成16年9月18日（土） 午後7時開演

会 場：京都市役所前広場特設ステージ

出 演：みかたしづか わけばやしみちはる
語り…片山清司・丸石やすし、シテ…味方玄・分林道治

音楽…京都フィルハーモニー室内合奏団

演 目：能「だいえ大会」より「天狗の恩返し」

料 金：無料

観客数：650人



片山清司



樹木 賴兼市長のあいさつ



能の華麗なる舞



京都フィルハーモニー室内合奏団



市役所前広場特設ステージ

■古都五宴 伝統芸能への誘い

世界遺産である二条城や西本願寺をはじめとした、京都ならではの名勝を舞台に、「能」、「狂言」、「邦楽」など京都が内外に誇る伝統芸能を発信しました。

日 時	会 場	タ イ プ
9月20日（祝）	世界遺産・二条城「二の丸御殿台所」	～観世流能楽が描く、雅の小宇宙～ “古今の花”
9月24日（金）	金剛能楽堂	～舞い、奏で、融けあう、東西の心～ “魂の遭遇”
10月 2日（土）	世界遺産・西本願寺「南能舞台」	～未来へ受け継がれる、幽玄の美～ “伝授の幽”
10月16日（土）	永観堂「御影堂」	～二つのアジア、響きわたる癒しの競演～ “美の深き流れ”
10月17日（日）	永観堂「御影堂」	～伝統の舞台に咲く、茂山狂言の世界～ “現今に息づく”



二条城（東南隅櫓）



西本願寺（唐門）



永観堂（総門）

○～観世流能楽が描く、雅の小宇宙～ “古今の花”

世界遺産・二条城内の日頃、一般公開されていない「二の丸御殿台所」を舞台に、観世流の若き能楽師・片山清司氏が雅やかな能楽の世界を創出しました。

日 時：平成16年9月20日（月・祝） 午後6時開演

会 場：世界遺産・二条城「二の丸御殿台所（重要文化財）」

出 演：シテ…片山清司、ワキ…谷田宗二郎、笛…佐鴻泰弘、小鼓…吉阪一郎、大鼓…河村大
地謡…浦田保親・味方玄、分林道治、大江信行、橋本忠樹

演 目：絵本語り「青葉の笛」・半能「敦盛」

料 金：(前売) 3,800円、(当日) 4,300円

観客数：320人



絵本語り「青葉の笛」（収蔵庫前にて）



ライトアップ（二条城内通路にて）



片山清司「敦盛」（台所内にて）

○～舞い、奏で、融けあう、東西の心～ “魂の遭遇”

金剛流宗家・金剛永謹氏の豪放な舞いと、ヴァイオリニスト・千住真理子氏が奏てる調べによる、異色のコラボレーションを展開し、新たなアートの世界を創出しました。

日 時：平成16年9月24日（金） 午後7時開演

会 場：金剛能楽堂

出 演：金剛永謹^{ひさのり}（金剛流宗家）、千住真理子（ヴァイオリニスト）

演 目：第一部 能「融」（金剛永謹）

第二部 バイオリン演奏（千住真理子）

第三部 能「小督」より「明月に鞭をあげ」（コラボレーション）

料 金：（前売）4,000円、（当日）4,500円

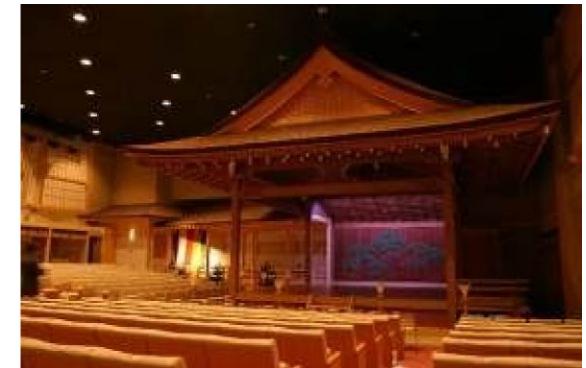
観客数…513人



金剛 永謹



千住 真理子



金剛能楽堂

○～未来へ受け継がれる、幽玄の美～ “伝授の幽”

世界遺産・西本願寺の南能舞台をステージに観世流能楽師・片山清司氏による能楽の真髓を披露しました。
また、日頃非公開の飛雲閣、白書院を特別に公開していただきました。

日 時：平成16年10月2日（土） 午後3時開演

会 場：世界遺産・西本願寺

出 演：シテ…片山清司、ワキ…谷田宗二郎、笛…竹市学、
小鼓…伊吹吉博、大鼓…河村大、間…茂山千三郎
まさる

演 目：能「天鼓」

特別プログラム【飛雲閣、白書院の公開】

料 金：(前売) 5,000円

観客数：202人



片山清司（天鼓）



飛 雲 閣



白 書 院



南能舞台

○～二つのアジア、響きわたる癒しの競演～ “美の深き流れ”

日本の音楽の源流である仏教音楽「声明」の厳かな響きと「中国古箏」の敬虔で美しい音色が、観客の皆様の心を癒す競演となりました。

日 時：平成16年10月16日（土） 午後7時開演

会 場：永観堂御影堂

出 演：^{ワーファン}伍 芳（中国古箏演奏家）、淨土宗西山禪林寺派法事部（声明）

演 目：第一部 声明

第二部 中国古箏演奏

料 金：（前売）3,800円、（当日）4,300円

観客数：434人



永観堂御影堂（外観）



伍 芳



淨土宗西山禪林寺派法事部

○～伝統の舞台に咲く、茂山狂言の世界～ “現今に息づく”

人間国宝・茂山千作氏をはじめ、日本の狂言界の代表的存在である茂山家一門が、世代を超えて楽しめる狂言の世界を演出しました。

日 時：平成16年10月17日（日） 午後6時30分開演

会 場：永観堂御影堂

出 演：茂山千作、茂山千三郎、茂山宗彦、^{もとひこ}茂山茂、茂山童司ほか

演 目：^{もらいむご}貢聾…聾 茂山茂、女 茂山童司、舅 茂山千作

栗焼…太郎冠者 茂山千三郎、主人 茂山宗彦、仲裁人 柳本勝海

料 金：(前売) 3,800円、(当日) 4,300円

観客数：457人



永観堂御影堂内



茂山千作（貢聾より）



茂山千三郎、茂山宗彦（栗焼より）

■平安神宮幻夜コンサート 京の夢「風と響」

「平安神宮」を舞台に壮大なライブ～古都に奏でる幻想の二夜～

○〈風の宴〉

アジアを中心に世界のサウンドを融合し、様々な芸能の要素を取り入れた音楽集団「シャンシャンタイフーン 上々颱風」が、懐かしさとエキゾチズム溢れるステージを開幕しました。

日 時：平成16年10月2日（土） 午後6時30分開演

会 場：平安神宮特設ステージ

出 演：シャンシャンタイフーン 上々颱風

料 金：(前売) 5,000円、(当日) 5,500円

観客数：1,101人



上々颱風



東應天門と客席

○ <響の宴>

世界的に評価を受けている和太鼓集団「鬼太鼓座」による太鼓の響きが平安神宮に鳴り渡り、迫力のあるステージを開催しました。

日 時：平成16年10月3日（日） 午後6時30分開演

会 場：平安神宮特設ステージ

出 演：^{おん}鬼太鼓座

料 金：(前売) 4,500円, (当日) 5,000円

観客数：1,144人



応天門前



鬼太鼓座

■京の伝統文化

世界遺産・二条城や西本願寺など、京都が世界に誇る名所と伝統文化「華道」のコラボレーション。

京都が世界に誇る伝統文化の「華道」を全国へ発信しました。

いけばなプロデュース：池坊美佳

テー マ：「伝統の舞台・新生の力」

会 場：「伝統芸能への誘い」の各会場において実施



二条城台所（9月22日～27日）



金剛能樂堂（9月24日）



西本願寺（10月2日）



永觀堂（10月16日～17日）

■COUNTRY DREAM

～オールジャパンカントリーミュージックフェスティバル～

日本のカントリーミュージック発祥の地「京都」に全国からカントリーミュージシャンが結集し、本場アメリカに劣らないライブコンサートを展開しました。

日 時：平成16年10月9日（土）午後4時開演

会 場：円山公園音楽堂

料 金：（前売）3,000円、（当日）3,500円

出 演：永富研二とテネシーファイブ、チャーリー・マッコイ、寺本圭一、

トミ藤山、片山誠史、JAPANESE BLUEGRASS BAND、KEIKO WALKERなど12団体

観客数…1,200人



円山公園音楽堂



チャーリー・マッコイ



永富研二とテネシーファイブ



PENNY PROMNADE (スクエアダンス)

■トンネルコンサート

二度と味わえない空間「供用開始前のトンネル」をステージに、今までに見たこともない、聞いたこともない響きと光景を繰り広げました。

日 時：平成16年10月9日（土）、10日（日）

会 場：京都市道高速道路1号線 稲荷山トンネル内

出 演：三好荒山、内田奈織（9日）R i n'（10日）

料 金：無料（各ステージとも招待）

観客数： 9日（1stステージ）280人

（2ndステージ）300人

10日（1stステージ）300人

（2ndステージ）350人



トンネル内ライトアップ



阪神高速道路公団PRコーナー



三好荒山



内田奈織



R i n'

■アートスクエア

市街地の公共空間で、伝統芸能、楽器演奏、歌唱、ダンスから「六斎念佛」のような地域で伝承されてきた民俗芸能等、延べ7回で25団体の出演により、幅広い芸術文化プログラムを展開しました。（2回は、荒天のため中止）

出演団体は、一般公募（プロ、アマ問わず）により募集を行い、選考会にて選定しました。

実施日	場所	出演団体	観客数
9月20日（祝）	市役所前広場	原谷和太鼓クラブどんづく、MAY BE MAX	250人
9月23日（祝）	大丸京都店	中山悟グループ、TAKUYA、大野木一彦ブルースバンド、金昌幸	1,000人
9月26日（日）	ゼスト御池	箏曲演奏・浅川京子	150人
10月 9日（土）	市役所前広場、ゼスト御池	台風23号のため中止	—
10月11日（祝）	京都駅ビル	岩崎伝京都鬼剣舞、民舞サークルわたり、京都中堂寺六斎会、 きんこう楽器ミュージックスクール、平安雅楽会、はねず踊り	1,500人
10月17日（日）	市役所前広場	エストレージャス、ピックトゥンスタジオ、ナサオン、sanbau、 the miracle shakers、佛教大学よさこいサークル紫踊屋	350人
	ゼスト御池	優美会、Free Time、カセ・ハナエ	200人
10月23日（土）	ゼスト御池	生田流箏曲・麗調会、璃音、ROSICK	200人



箏曲演奏（ゼスト御池）



民俗芸能（京都駅ビル）



和太鼓演奏（市役所前広場）



大道芸（大丸京都店）

■新しいまちのステージ

地域文化会館を会場にフランチャイズ団体として活動している団体が、広く市民の皆様にご覧いただける公演を「新しいまちのステージ」事業として、無料で公演しました。

- フランチャイズ団体 北文化会館：「京響市民合唱団」、西文化会館ウエスティ：「京都バロック楽器アンサンブル」、右京ふれあい文化会館：「京都フィルハーモニー室内合奏団」、東部文化会館：「劇団衛星」

実施日	場所	出演団体（共演団体）	観客数
10月 3日（日）	北文化会館	京響市民合唱団（混声合唱団どんぐり、京都北区民合唱団）	410人
10月 8日（金）	右京ふれあい文化会館	京都フィルハーモニー室内合奏団（四条中学校、嵯峨野中学校）	310人
10月 9日（土）	西文化会館ウエスティ	京都バロック楽器アンサンブル（川西小学校金管バンドクラブ）	210人
10月 11日（祝）	呉竹文化センター	京都フィルハーモニー室内合奏団、京響市民合唱団	430人
10月 16日（土）	東部文化会館	劇団衛星	300人
10月 22日（金）	東部文化会館	京都フィルハーモニー室内合奏団（ひまわり児童合唱団）	250人
10月 23日（土）	右京ふれあい文化会館	京響市民合唱団（京都シンフォニカ）	280人



京響市民合唱団



劇団衛星



京都フィルハーモニー室内合奏団



京都バロック楽器アンサンブル

■報道

京都の有形無形の文化資源を生かして展開した「京都文化祭典 京の華舞台」は、多くの新聞や雑誌、テレビ、ラジオ等で取り上げられ、全国の皆様から注目されました。

●新聞掲載（22件）

- #1 3月28日 京都新聞・朝刊「今秋初のアート・フェス ロゴマークを公募」
- #2 4月4日 産経新聞・朝刊「ロゴマーク募集します 今秋の京都文化祭典」
- #3 5月1日 産経新聞・朝刊「京都文化祭典のロゴマーク決まる 大阪の会社員・深川さんの作品」
- #4 5月13日 朝日新聞・朝刊「京都文化祭典のロゴマーク決定 大阪府和泉市・深川さんの作品」
- #5 7月26日 京都新聞・朝刊「京を舞台 多彩な芸術発信 今秋初開催の京都文化祭典」
- #6 8月26日 日経インテレッセ「古典からニューウエイブまでさまざまなアートのコラボレーション」
- #7 8月28日 日経新聞・朝刊「秋の京、ユニーク伝統芸能 二条城・永観堂などを舞台に」
- #8 9月8日 あいあいA!京都「京都文化祭典18日から 平安神宮幻夜コンサート新登場」
- #9 9月12日 京都新聞・朝刊「京都文化祭典 京の華舞台 古今東西の文化が集結」
- #10 9月14日 讀賣新聞・朝刊「世界遺産舞台に能 18日から京都文化祭典」
- #11 9月30日 日経新聞・朝刊「京の華舞台 京都ならではの趣満載 二条城台所などを会場に」
- #12 10月10日 讀賣新聞・朝刊「残響音いい感じ 山科区でトンネル演奏会」
- #13 10月10日 毎日新聞・朝刊「幻想的な響きに酔う 山科トンネルで演奏会」
- #14 10月10日 産経新聞・朝刊「トンネルのソナタ ★★ in京都」
- #15 10月10日 朝日新聞・朝刊「残響うっとり 京都・建設中の高速トンネルで演奏会」
- #16 10月10日 京都新聞・朝刊「長~い残響、えエ~音！ 建設中の新十条通トンネルで演奏会」
- #17 10月10日 福井新聞、山陰中央新報、日本海新聞、秋田魁新報にもトンネルコンサートが掲載
- #18 10月18日 読売新聞・朝刊「9グループ200人がダンスや演奏披露」
- #19 11月11日 産経新聞・夕刊「幽玄への誘い 和と洋 絶妙のコラボ」

●テレビ報道（2件）

- ・10月10日 KBS京都テレビ トンネルコンサート
- ・10月11日 よみうりテレビ「ニューススクランブル」 トンネルコンサート

●ラジオ報道（6件）

- ・8月7日 α-station「DAY LIGHT CALL」 鬼太鼓座出演
- ・8月7日 KBS京都ラジオ「南かおりのHall o Musicランド」 鬼太鼓座出演
- ・8月26日 α-station「SUNNY SIDE BALCONY」 上々颶風出演
- ・8月26日 KBS京都ラジオ「村上ゆうこのラジオかまい隊」 上々颶風出演
- ・8月29日 ラジオカフェ「日曜午後の遊び時間」上々颶風出演
- ・10月3日 ラジオカフェ「日曜午後の遊び時間」鬼太鼓座出演

●雑誌掲載（22件）

- ・6月25日 Leaf（8月号）「京の華舞台チケット発売」
- ・7月1日 ガクシン（7・8月合併号）「片山清司・茂山千三郎・平安神宮幻夜コンサート」
- ・7月20日 観光情報・京都（8月号）「京の華舞台チケット発売」
- ・8月1日 京都CF（9月号）「京の華舞台チケット発売」
- ・8月1日 MK新聞（8月1日号）「京の華舞台チケット発売」
- ・8月7日 リビング京都（8月7日号）「平安神宮幻夜コンサート」
- ・8月20日 観光情報・京都（9月号）「京の華舞台チケット発売」
- ・8月23日 ひあ関西版（9・6号）「平安神宮幻夜コンサート」
- ・8月27日 Leaf（10月号）「平安神宮幻夜コンサート」
- ・9月1日 おふたいむ（9月号）「京都文化祭典開催」
- ・9月1日 K-プレス（9月号）「京の華舞台開催」
- ・9月1日 住宅情報STYLE（10月号）「平安神宮幻夜コンサート」
- ・9月5日 きょうと府民だより（9月号）「京都文化祭典開催」
- ・9月10日 月刊京都（10月号）「京都文化祭典開催」
- ・9月10日 まるごとガイド京都（秋・冬号）「京の華舞台開催」
- ・9月15日 TOKK（9月15日号）「京の華舞台開催」
- ・9月21日 ひあ関西版（10・4号）「京の華舞台開催」
- ・9月25日 L-magazine（11月号）「平安神宮幻夜コンサート」
- ・10月1日 MK新聞（10月1日号）「舞と響のハーモニーで京の華舞台開幕！」
- ・10月10日 本願寺新報（10月10日号）「伝授の幽 本山の舞台はすごい！」
- ・10月15日 きょうとシティグラフ（自治記念号）「京の華舞台開催」
- ・10月16日 MK新聞（10月16日号）「トンネルコンサート 完成前のトンネルで尺八・ハープが共演」

**今秋初開催の
京都文化祭典**

京を舞台 多彩な芸術発信

社寺を舞台に伝統芸能・コンサート
チャンバラ名作上映、一流オケ演奏

京都市が概要 都大路パレードで開幕

#5 7月26日 京都新聞

秋の京 ユニーク伝統能

二条城・永觀堂など舞台に

能とクラシック 中国古事記説明会

#7 8月28日 日経新聞

世界遺産舞台に能

18日から京都文化祭典

#10 9月14日 讀賣新聞

能とクラシック 中国古事記説明会

能とクラシック 中国古事記説明会

#1 3月28日 京都新聞

ロゴマーク募集します

今秋初の「アート・フェス」
ロゴマークを公募

京都市、広報などに使用

#2 4月4日 産経新聞

ロゴマーク決定

京都文化祭典のロゴマーク決定
大阪府和泉市・深川さんの作品

#4 5月13日 朝日新聞

京都文化祭典のロゴマーク決まる

大阪の会社員・深川さんの作品

#3 5月1日 産経新聞

The image shows a full-page spread from the Asahi Shimbun. At the top right, the word '文化' (Bunka/Biology) is written vertically. The main headline at the top left reads '京の華舞台' (Kyoto's Flower Stage). Below it is a large, vertical title '京都ならでは」の趣満載' (Full of charm unique to Kyoto). To the left of the main text is a photograph of a Kyoto Noh performance. The performers are dressed in elaborate traditional costumes, including a figure in a white mask and another in a blue and white patterned robe. The background shows a stage set with trees and architectural elements. The bottom half of the page contains two columns of text. The left column discusses the integration of traditional Japanese arts like Noh and Kyogen with modern elements. The right column continues this theme, mentioning the 'classical fusion' of traditional arts.

#11 9月30日 日経新聞



#17-3 10月10日 日本海新聞



#9 9月12日 京都新聞



#12 10月10日 讀賣新聞



#8 9月8日 あいあいA | 京都



#15 10月10日 朝日新聞



#19 11月11日 産経新聞



音響抜群のホール。

#17-4 10月10日 秋田魁新報



トunnelのソテダ
★☆ 仁高部
京都府で建設中の京滋高架道路と同様（通称：新十津川）のトンネルが9月1日、只見やハーベスのコノサートが開催され、音響専門家ら150名に向け音響コンサルタントの解説がなされた。音響コンサルタントとして登壇したトunnelの仁高部によれば、「音響の世界」に間に合った。

#14 10月10日 産経新聞



#17-2 10月10日 山陰中央新聞



長い残響、えエ～音！

#16 10月10日 京都新聞



#17-1 10月10日 福井新聞



#18 10月18日 讀賣新聞

■広報印刷物の作成・配布

●チラシ

- ・全体リーフレット 130, 000枚 (A4 1/2 8P)
- ・伝統芸能への誘い 72, 000枚 (A4 2P)
- ・平安神宮幻夜コンサート 110, 000枚 (A4)
- ・COUNTRY DREAM 80, 000枚 (A4)



●ポスター

- ・京の華舞台ポスターB2版 1, 500枚
- ・京の華舞台ポスターB3版 12, 000枚



開催告知及び催し案内のために、ポスター、チラシ、リーフレットなどの印刷物を、京都市広報板、市公共施設、JR 東海の東京、品川、新横浜、名古屋などの各駅や関西地区の私鉄各駅、有名ホテル・百貨店・書店などで掲出、配布しました。

